

交渉NEWS

東日本ユニオン東京地本 NO,19 2020年 7月29日

2020年度営業関係施策（その2）提案うける！

2020年度営業関係施策（その2）は、駅周辺再開発工事が進む渋谷駅に関して、駅改良工事に伴い「駅業務体制を見直す」というものです。

具体的には、玉川改札廃止に伴う出改札体制を見直し、施策実施により営業職で9名削減という内容です。



【わたしたちの主な主張】

- ・ 駅舎工事で利用客の増減はあるか？
 - ・ 玉川改札の現行作業ダイヤからの変更は？
 - ・ 駅周辺再開発工事の進捗状況は？
 - ・ 渋谷駅での「業務委託」は？
 - ・ 寝室や休憩室などの変更は？
 - ・ 今後の工事内容は？
 - ・ 渋谷駅埼京新ホームの評判は？
- ・ 営業関係施策(その1)は『8/1』という提案だったが、新宿駅自由通路と飯田橋駅新ホーム使用開始は7月に行われている支社の姿勢を改めるべきである。

【支社の主な主張】

- ・ 駅舎工事における利用客の増減はないものと考えている。
動線が簡素化され利用しやすくなると考えている。
- ・ 駅周辺再開発工事は2028年まで続く。
- ・ 改札2テ1日の廃止と出札1テ→1日とする。
- ・ 工事は概ね予定通り順調に推移している。
- ・ 業務委託に関しては、常時運転取り扱いがあるか無いかに関わる、時々判断で提案という形で示すことになると考える。
- ・ 共有スペースは「働いている方々」が使いやすいように考えていく。
- ・ 埼京新ホームに関しての評判は「良い」、クレームなどはない。
- ・ 労働組合からの指摘された内容は受けとめる。

☆新大久保駅「全般委託」について☆

提案対象ではなかった内容ですが、12月1日よりJESSに駅業務全般委託となります。より良い職場とより良い会社を創造するために皆さんのチカラをかしてください！

